

科目ナンバー	SOC-2-003-jk			科目名	情報社会		
教員名	玉川 博章			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	現代社会では情報から隔絶した生活を行うことは不可能といえる。現代社会で重要な役割を負っている情報とどのように接していくべきかについてを考えることをテーマとする。テレビなどのマスメディアやインターネットを中心に、情報社会の仕組みや問題点を具体的な事例を取り上げながら説明する。また、トピックに合わせ、情報社会論やコミュニケーション論などを参照し、情報社会に関する学問的な見方を理解する。						
到達目標	社会人として必要とされる最低限のメディアリテラシーを身につけることを目的とする。メディアリテラシーとはコンピューターを使いこなすだけでなく、メディアや情報を鵜呑みにせずそれを解釈し使いこなす力である。情報社会に必要なこのような力を身につけるために、基本的な知識や考え方、社会の動向を理解する。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性		関係を構築する力	○	実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	講義形式中心。必要に応じてビデオ等の視聴覚資料を利用する。数回の感想やミニレポート提出を予定し、それらの回収等のためにmoodleを利用する。授業中に、それら提出物のフィードバックやディスカッション(受講者数による)を行う。						
アクティブラーニング			サービスラーニング			課題解決型学修	
受講条件 前提科目	2年生以上。						
アセスメントポリシー及び評価方法	期末試験(60%)と平常点(40%:ミニレポートなど提出物)による。期末試験では、授業内容、情報社会に対する基本的な考え方の理解度をペーパーテストで評価する。						
教材	毎回プリントを配布する。						
参考図書	橋元良明(編著)『メディアコミュニケーション学』(大修館書店)、伊藤守(編著)『よくわかるメディア・スタディーズ』(ミネルヴァ書房)、藤竹暁(編著)『図説 日本のマスメディア』(NHK出版)、D・ライアン『監視スタディーズ』(岩波書店)、土橋臣吾、南田勝也、辻泉(編著)『デジタルメディアの社会学[改訂版]』(北樹出版)、土橋臣吾、南田勝也、辻泉(編著)『メディア社会論』(有斐閣)						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	シラバス授業・ガイダンス						
授業外学修内容						時間数	
2週目							
授業学修内容	身の回りのメディア:メディア利用状況						
授業外学修内容	事前に自分のメディア利用について、その時間と金額について振り返ってみるレジュメ等を利用し授業内容の復習					時間数	2
3週目							
授業学修内容	メディア産業の特徴と歴史:出版・新聞・放送						
授業外学修内容	レジュメ等を利用し授業内容の復習					時間数	2
4週目							
授業学修内容	インターネットの発展とバーチャルコミュニティ						
授業外学修内容	自分の携帯電話・ネット利用について振り返ってみる携帯・ネットでのコミュニケーションについてミニレポート					時間数	4
5週目							
授業学修内容	ネット・ケータイによるコミュニケーションの変容						

授業外学修内容	レジュメ等を利用し授業内容の復習	時間数	3
6週目			
授業学修内容	広告・広報		
授業外学修内容	広告代理店(電通か博報堂など)の企業ホームページをみてる	時間数	2
7週目			
授業学修内容	テレビ・映像文化:エンタテインメントとネットでの映像視聴		
授業外学修内容	事前にニコニコ動画にふれてくる事後に自分の映像作品の消費について考えてみるレジュメ等を利用し授業内容の復習	時間数	3
8週目			
授業学修内容	エンタテインメントメディア産業とメディアミックス:アニメ・マンガなど		
授業外学修内容	レジュメ等を利用し授業内容の復習	時間数	3
9週目			
授業学修内容	メディアの影響:報道と人権・デマ		
授業外学修内容	レジュメ等を利用し授業内容の復習	時間数	3
10週目			
授業学修内容	プライバシー・個人情報保護法		
授業外学修内容	レジュメ等を利用し授業内容の復習	時間数	3
11週目			
授業学修内容	世論調査		
授業外学修内容	レジュメ等を利用し授業内容の復習	時間数	2
12週目			
授業学修内容	メディアと世論形成:マスコミとネット、フェイクニュース		
授業外学修内容	自分のニュースの接触について考えてみる	時間数	5
13週目			
授業学修内容	情報社会における監視と「安心・安全」		
授業外学修内容	事後に監視社会、社会的振り分けについて、概念を整理し、その問題点を考える	時間数	5
14週目			
授業学修内容	情報社会におけるインターネットと社会・政治		
授業外学修内容	レジュメ等を利用し授業内容の復習	時間数	3
15週目			
授業学修内容	知的財産権(著作権)とネット社会		
授業外学修内容	レジュメ等を利用し授業内容の復習	時間数	4
上記の授業外学修時間の合計		44	
その他に必要な自習時間		46	

Number	SOC-2-003-jk	Subject	Information Society I		
Name	玉川 博章 (Tamagawa Hiroaki)	Year and Semester	Second semester for 2020	Credits	2
Course	The aim of this course is to understand social changes in the information society. For that aim, you consider the features of Internet and mass media such as TV. Also, while referring to informa				

utline	tion sociology studies and communication studies, you understand academic points and think about problems of the Internet society.
--------	--